

内閣官房 発行

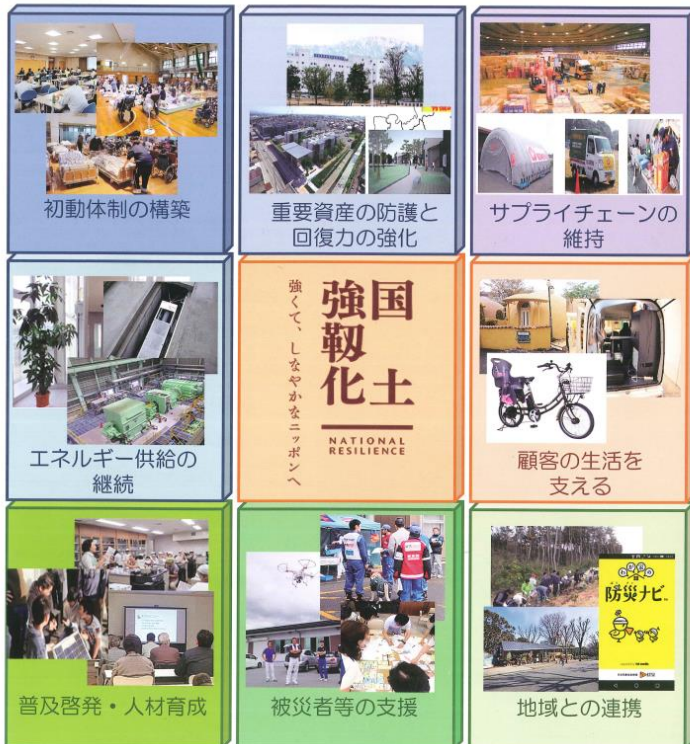
「国土強靱化 民間の取組事例集」

平成30年の新規事例に掲載されました！

民間の取組事例集

— 概要版 —

平成30年5月



顧客を守る！ ▶顧客の生活を支える 12 レジリエンスに特化した商品やサービスをつくる

465 既存のトイレに被せるだけで尿と便を分ける簡易型トイレの開発

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
株式会社ホクコン 【平成30年】	8210001011942	インフラ関連事業者 【製造業】	福井県

- プレキャストコンクリートメーカーである株式会社ホクコンは、水や電気が使えなくても既存のトイレに被せるだけで使用できる簡易型トイレを平成27年7月に開発した。
- 同社は、「トイレ未来を考える会」（代表・京都大学清水芳久教授）との共同研究により、「し尿分離型のトイレ」の実用化に取り組んできた。東日本大震災時に、試作段階のポータブル型の「し尿分離トイレ」を提供したところ、ニーズが高かったため、同社は、東日本大震災を機に同商品を製品化し、販売を始めた。
- 同社では、尿と便を分け、各々に消石灰を添付しアルカリ化することで悪臭の発生を防止させた。また分離した便は可燃ごみとして焼却処分を可能と、尿は消石灰により病原菌を含まない状態にし、放流や土壌肥料としての利用も可能としている。
- 尿と便を分けることで、避難所で大量に出る排泄物ゴミを減量でき、ゴミの置き場所省スペース化・臭いの問題・焼却処分に際し有効であるとしている。



▲簡易型「し尿分離型」トイレ

内閣官房では、これから国土強靱化に関する取組を行う方々のご参考にしていただけるよう、国土強靱化に関して先導的な取組を収集されています。

詳しくは、内閣官房ホームページ
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/h30_minkan/index.html
 「事例集一括」をクリックして事例番号465(p272)をご覧ください。